

(北海道医療大学看護福祉学部FDセミナー)

テーマ:「人権感覚の醸成と実習教育」

【趣 旨】

人生の最終段階における意思決定、働き方改革、地域共生社会実現に向けた提言など、人の生き方や社会のあり方に関する課題が提示されている。加えて、相模原障害者殺傷事件、目黒区での子ども虐待死など、人権について考える機会も少なくない。法務省人権擁護局(2015)によると、人権とは「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」、「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらにして持つ権利」である。医療・福祉専門職にとって、人権感覚の醸成は極めて重要であり、実習教育は重要な教育機会となる。

講演では、児童虐待やDV問題、夕張北炭新夕張炭鉱ガス爆発事件(損害賠償請求)・国鉄分割民営化採用差別事件(不当労働行為救済)などの弁護士経験や、育児放棄や虐待などで居場所がない子どもたちの「子どもシェルターレザビリティ」での活動を通じて、「人権は闘いとるもの」とされている講師が、弁護士活動の原動力となる人権感覚をどのように身に付けてきたのかについて、ご自身の活動とともに紹介いただく。

さらに、実習教育で利用者の人権擁護について積極的に取り組まれている指定発言者から全体質疑のきっかけとなる発題をいただき、フロアーとの意見交換を通じて、今後の実習教育に示唆を得ることを目的とする。

【日 時】2019年2月9日(土) 14:00~17:00(受付13:30)

【会 場】北海道医療大学サテライトキャンパス(札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45 12階)

【対 象】教員、実習指導者、学生など 【定 員】60名(予定)

【参加費】無料

【申 込】学外のみ事前申込要(学内関係者は、事前申し込み不要)

【プログラム】

司会 巻 康弘(看護福祉学部 准教授)

14:00~14:05 開 会

14:05~14:20 プロローグ講演「人権感覚の醸成と実習教育」

講師:鈴木幸雄(看護福祉学部 教授)

14:25~15:55 講 演

座長 大友芳恵(看護福祉学部 教授)

テーマ「人権は闘いとるもの~弁護士活動と人権感覚の醸成~」

講師:弁護士 内田信也(北海道合同法律事務所)

16:10~17:00 指定発言・全体意見交換(コメンテーター 内田信也)

指定発言者:「医療福祉の実習指導経験から」上田 学(新さっぽろ脳神経外科病院MSW)

「児童福祉の現場経験を踏まえて」片山寛信(看護福祉学部 助教)

17:00

開 会

参加申込(学外)・問い合わせ先 北海道医療大学 看護福祉学部 巻 康弘

TEL:0133-23-1481 E-mail: maki@hoku-iryo-u.ac.jp